

新茶シーズン到来！ 小学生ら 2000 人が見学

～ 大和茶研究センター 40 年以上の取り組み ～

大和茶研究センターでは、毎年、新茶の季節となる5～6月に、奈良市内の小学校の社会見学（遠足）を数多く受け入れています。

昨年（平成28年度）の見学受け入れ件数は29校、合計見学者数は2,197人（引率者含む）、一昨年（平成27年度）の件数は27校、合計見学者数は2,040人（同）で、奈良市内の全小学校52校のうち半数以上が来所されます。

文部科学省の学習指導要領によると小学校の3～4年生では「身近な地域や市町村の地理的環境や人々の生活、地域の産業と消費について、見学したり調べたりする」こととされ、奈良市内の小学校では、市東部山間の特産物である「お茶」がテーマになることが多く、当大和茶研究センターは格好のコースとなっています。

見学の受け入れにあたっては、お茶の歴史・茶畑の特徴・年間の農作業・防霜ファンや茶摘み機のしくみ・製茶工場などについて、実物・実演をまじえながら解説し、最後に「大和茶」のPRをしています。

この取り組みは、40年以上前の1970年代、数校の受け入れからはじまり、過去には市教育委員会発行の副読本で、「農業試験場茶業分場（当時の名称）」が取り上げられるなど、長年好評を得ており、近年では「引率の先生方やご父兄、また関係職員の中にも、かつて『3年生の時の遠足』で茶業分場に来た」と幾度となくお聞きしています。

今年度も25校以上を受け入れ予定で、今後とも可能なかぎり見学していただき、次世代の消費者たる子どもたちに奈良の特産物「大和茶」への理解を進め、お茶に・農業にますます興味をもってもらいたいと考えています。

（大和茶研究センター 瀬川 賢正）



奈良県農業研究開発センター
ニュース No. 152

2017年6月30日発行

編集発行 奈良県農業研究開発センター
TEL 0744-47-4491(代)
FAX 0744-47-4851
URL <http://www.pref.nara.jp/1761.htm>
印刷 株式会社春日